
Secret job

流人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Secret job

【Nコード】

N82650

【作者名】

流人

【あらすじ】

2530年 ……

人は空を見上げるのを止めた

世界は地上と地下に二分され、地上の世界は栄華を極めた時期に回歸し始めた

日本は帝都へと回帰する

ヨーロッパはルネッサンス期へと回帰した。

そして、世界が約二倍になったことにつれて、いわゆる“社会的な悪”が増加した。

あまりの増加によりもはや警察などの力は到底及ばなくなっていた。

そこで新たな全世界共通の法が制定された。

賞金首制度。通称“バウンティ”

早い話が犯罪者の断罪を民間人に委託したわけである。

これにより民間の有志による警備会社が新たなビジネスとされ続々設立されていった。

金のため、思想のため、正義のため……

賞金首を狩る“ハンター”達が世界を駆ける

それぞれ目的は違えど敵対、協力を繰り返し世界は回り続ける。

そして今また、新たなハンターが世界を駆け始める……

序幕

誰しもが人に言えない事がある

誰しもが一回は汚れた仕事を負う

そんな世界に真実はあるのか

「誰が真実はあると言った」

「そして赦される事などない」

春風が街中を吹き抜け、夜空に舞い上がる

鷹が羽を散らしながら虚空を舞い、鳴き声が響く

一人の男が鷹の羽を手握りしめ、空を見上げる

男は白いローブを着ていた

男は歩き出す

ローブに風が舞う

男は光と喧騒が舞う大通りを避け、裏路地に進んでいった。

路地裏を進んでいくと声を後ろからかけられた。

「誰だ！」と声が路地裏に響く

男は振り返り声の主を見た。

スーツを着た男が二人、懐中電灯と警棒をもってこちらの様子を見ていた

「アサシンか？」とスーツの男が言い放った

“アサシン”と言う言葉にローブの男は身構えた

スーツの二人組が警棒を握りしめた

警棒に蒼白い電撃がはしる

ローブの男が顔をしかめる

スーツの男が飛びかかる

ローブの男が手を振り上げる

瞬間

鮮血がほとばしり、壁が真っ赤に染まった……………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8265o/>

Secret job

2010年11月10日15時49分発行